

平成30年度 生活支援ボランティア養成講座を開催しました

日南町では、地域住民同士が見守りや支え合いを行うことで、安心、安全に暮らせる地域を目指し「生活支援ボランティア養成講座」を平成22年から開講しています。

今年度は石見地域振興センターを会場に11月に4回シリーズで「生活支援ボランティア養成講座」を開催しました。養成講座の中でボランティアの実際の活動について塩見清子さん（上石見）に報告をしていただきました。主に住民主体のつどいでの活動内容についてでしたが、つどいの運営は、皆さんの意見を聞きながら皆で一緒に楽しく取り組みを行っているという言葉が印象的でした。養成講座の参加者の声をアンケートよりご紹介します。

◆「自分なりに出来ることをやりたいと思います」

◆「一人で頑張らず皆で活動する、そういう気持ちが大切と感じた」

◆「身近なところで隣近所の方と支え合いながら見守り活動を続けていきたいと思います」

などたくさんのご感想・ご意見を頂きました。今後の事業活動に活かしていきたいと思えます。今年度は新たに11名の方が全講座を受講され、登録をしていただきました。

平成30年12月時点で

修了生 117名（64歳以下27名）（男性：26名 女性：91名）

活動登録者 94名（64歳以下20名）（男性：18名 女性：76名）

になりました。生活支援ボランティア登録をされている方には、活動をハンドブックに記入し、報告していただいています。その中の活動内容について紹介します。

○つどいの会場準備などお手伝い

○高齢者の方の話し相手

○隣近所への声かけや除雪など

○町内介護事業所における環境美化、窓拭き

などです。また、来年度も継続して養成講座を開催していきますので、ボランティア活動に興味のある方などは是非受講いただきますようお願いいたします。



緊急時や災害時に備えて

日南安心キット（救急医療情報キット）の紹介

緊急時や災害時に備え、希望者に日南安心キットの設置を推進しています。日南安心キットは医療に関する情報や緊急連絡先などを記入して、所定の容器に入れて冷蔵庫に保管していただき、すみやかな支援に役立つ物です。救急医療の現場では、独居高齢者世帯が増えたこともあり、必要な医療情報が的確に伝わらないことが、救命の大きな弊害となっていました。生存率を高めるためには、既往症や服用薬などの情報を、医療現場に正確に早く伝えることが必要です。

キットの活用として、

救急隊員など関係者がご自宅に入ったとき、冷蔵庫にシールが張つてあれば、冷蔵庫からキットを取り出し、病院への搬送や医療機関へ連絡をします。

○キットの内容

1. 保管用の容器：医療情報等を記載した用紙を入れ、冷蔵庫に保管します。

2. 医療情報等記載用紙：かかりつけ医・緊急連絡先などを記載します。

3. 冷蔵庫扉用シール：目印として冷蔵庫の扉に貼りつけます。

日南安心キットの設置については、地域包括支援センターの職員等が個別訪問や地域の集まり等に出向き、ご説明します。記載内容が変更になった場合は、予備の用紙がまちづくり協議会や地域包括支援センターにありますので、そのつど修正をお願いしています。もしもの時に備えてぜひ、日南安心キットをご活用ください。

